



認知症になっても安心して暮らせる
まちづくりを目指して

●問い合わせ・申込先

地域包括支援センター

(高齢障害課内) ☎82・1149

「認知症」は誰にでも起こり得る脳の病気です。脳は、私たちのあらゆる活動をコントロールしている司令塔です。それがうまく働かなければ、精神活動も身体活動もスムーズに運ばなくなります。認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が死滅したり、働きが悪くなったりしたことによって様々な障がいが起こり、生活するうえで支障が出ている状態を指します。

あなたやあなたの身近な人が認知症にかかってしまう可能性も決して低くはありません。認知症を正しく理解し、「認知症になっても安心して暮らせるまち」、「認知症の人や家族を温かく見守れるまち」をつくっていきましょう。

◎認知症サポーター養成講座

認知症サポーターとは、何か特別なことをする人ではなく、講座を受講し、認知症に関する正しい知識を身につけた認知症の人やその家族を見守る「応援者(サポーター)」のことです。

地域や職場、学校など各種の集まりで、「認知症サポーター養成講座」を開催し、認知症について学んでみませんか。講座を受講した人には、認知症サポーターの印として「オレンジリング」をお渡しします。

◎内容

認知症に関する基礎知識、認知症の人やその家族への支援のあり方など

◎時間 1時間～1時間半程度

※希望する団体と日程調整をして開催します。

◎費用 無料

※詳しくはお問い合わせください。

◎音読体験をしてみませんか？

市では、認知症対策の一つとして、“音読”を主とした認知症予防の方法を地域に広める“脳活サポーター”を養成しています。

その脳活サポーターと市職員が地域に認知症予防を広めるため、自治会・地域などで集まりがあるときに、各開催場所に出向きます。脳活サポーターから直接“音読”を学び、実際に“音読”を体験してみませんか。

「認知症に優しい事業所」 として登録しませんか？

認知症サポーター養成講座を受講した事業所に、「認知症に優しい事業所」ステッカーを交付し、登録となります。このステッカーが「認知症に優しい事業所」の目印です。登録した事業所に、何か特別なことをお願いするわけではありません。認知症と思われる人を見かけたときに温かく見守り、優しい対応をお願いしています。詳しくはお問い合わせください。



◎内容

- 講話（認知症と認知症予防について、音読の効果について）
- 音読体験（発声、呼吸法、体操、レクリエーションなど）

◎時間 1時間～1時間半程度

※月～金曜日の8:30～17:15

（土・日・祝日は除く）

◎費用 無料

※詳しくはお問い合わせください。